

平成14年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社 J ス ト リ ー ム
代 表 者 名 代表取締役社長 白石 清
コ ー ド 番 号 4 3 0 8 (東 証 マ ザ ー ズ)
問 合 せ 先 取締役 C F O
管理部長兼広報 I R 室長 菅井 毅
TEL (03) 3560-7101

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年5月22日の本決算発表時に公表した業績予想の中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成15年3月期 中間業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成14年5月22日発表)	761	60	62
今回修正予想 (B)	666	148	147
増減額 (B - A)	95	88	85
増 減 率	12.5	-	-
前期実績(平成13年9月中間期)	565	41	38

2. 平成15年3月期 通期業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成14年5月22日発表)	1,798	112	110
今回修正予想 (B)	1,666	0	0
増減額 (B - A)	132	112	110
増 減 率	7.3	-	-
前期実績(平成14年3月期)	1,405	36	40

3. 修正の理由

ブロードバンド環境の拡大は進んでいるものの、景気低迷下においてイベント案件が低調に推移するなかでライブ部門が伸び悩んでおり、さらにストリーミング広告配信についても市場の拡大が期初予想より遅れていることから、売上高については、中間期、通期ともに期初予想を下回る見込みであります。

また利益に関しましては、売上高の下方修正にともない利益率の悪化が見込まれます。一方、ブロードバンド市場の急拡大に備え、そのためのアプリケーション開発、及びネットワーク拡充への投資は、来期以降の事業拡大を見据え、優先度合いを慎重に判断し投資金額の調整を行いながら、期初予定投資と同等の効果を得られる範囲で投資を継続していく予定であります。その結果として経常利益、当期純利益は、中間期及び通期ともに期初予想を下回る見込みであります。

なお、上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社の判断で作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上